

授業科目名・形態	健康課題別活動論Ⅱ 演習	必修・選択の別	選択	単位数	1
科目担当者氏名		実務経験の有無	有	開講期	3年後期

【授業の主題】

歯科口腔保健活動や感染症保健活動の歴史的な保健活動の変遷や動向を踏まえ、各分野の健康課題を理解する。また、保健・医療・福祉の諸施策を理解したうえで、各分野の対象の特性に応じた保健活動の方法を学ぶ。さらに、集団を対象とする健康危機への対応を学ぶ。

【到達目標】

1. 歯科口腔保健活動、感染症保健活動の歴史的変遷、現在の動向や施策を理解できる。
2. 歯科口腔保健、感染症保健の各分野の対象の特性に応じた支援（保健活動）を理解できる。
3. 感染症発生時の健康危機管理を理解できる。

【授業計画・内容】

第1回	歯科口腔保健活動	歯科口腔保健の動向
第2回	歯科口腔保健活動	生涯にわたる歯科口腔保健対策
第3回	歯科口腔保健活動	生涯にわたる歯科口腔保健への支援
第4回	感染症保健活動	感染症保健対策の動向
第5回	感染症保健活動	感染症対策、感染症予防活動
第6回	感染症保健活動	疾病管理（結核1）と支援Ⅰ
第7回	感染症保健活動	疾病管理（結核2）と支援Ⅱ
第8回	感染症保健活動	疾病管理（結核3）と支援Ⅲ
第9回	感染症保健活動	疾病管理（HIV感染症/AIDS）と支援Ⅳ
第10回	感染症保健活動	疾病管理（性感染症、新興感染症・再興感染症）と支援Ⅴ
第11回	感染症保健活動	疾病管理（ウイルス性肝炎、HTLV-1感染症等）と支援Ⅵ
第12回	感染症保健活動	疾病管理（つつがむし病、腸管出血性大腸菌感染症、食中毒等）と支援Ⅶ
第13回	感染症保健活動	健康危機管理と感染症対策
第14回	感染症保健活動	感染症発生時の保健活動Ⅰ
第15回	感染症保健活動	感染症発生時の保健活動Ⅱ

【授業実施方法】

講義、演習

【授業準備】

教科書を読んで講義に臨み、講義後は学修内容を復習する

【主な関連する科目】

「感染と免疫」「公衆衛生学」「公衆衛生看護学実習Ⅰ・Ⅱ」など公衆衛生看護学の科目

【教科書等】

公衆衛生看護学.jp 第4版 データ更新版、インターメディカル、2019.
国民衛生の動向 2020/2021年版、厚生統計協会、2020.

【参考文献】

標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動、医学書院、2018.
最新保健学講座 公衆衛生看護活動論②、メヂカルフレンド社、2020.
最新公衆衛生看護学 第3版 各論1、日本看護協会出版会、2020.

【成績評価方法】

受講態度等（5%）、提出課題（10%）、定期試験の成績（85%）による総合評価

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

都道府県保健所で保健師として、地域保健活動を経験

保健師としての実務経験から公衆衛生活動および公衆衛生看護活動（保健師活動）について、知識や技術を授業を通して伝えたいと考えています。

【学生へのメッセージ】

2年生までの関連科目を復習して、授業に臨みましょう。授業で取り上げる内容は保健師活動として、基本的な分野です。この分野から保健師国家試験の問題として出題されることが多いので、授業後はしっかり復習して確実に知識を習得しましょう。